

自公政権が退場 いまこそ国民要求実現のチャンス

後期高齢者医療制度廃止を

日本共産党

国民は総選挙で暮らし、雇用、社会保障を破壊してきた自公政治に「ノー」の厳しい審判を下しました。日本の政治の前向きな大きな一歩です。いまこそ国民要求実現の大きなチャンス。日本共産党は「建設的野党」として、みなさんと力あわせてがんばります。

民主党中心の政権に公約守らせ、一日も早く実現を



いま、後期高齢者医療制度を、新しい国会で廃止に追い込もうという動きが急速に盛り上がっています。

日本共産党は当初から、高齢者に医療差別を持ち込むこの制度に反対してきました。日本共産党の論戦と国民の運動は廃止法案を参議院で可決させる大きな力となりました。民主党もマニフェストで廃止を公約。自公政治が退場し、大きく廃止の条件が広がりました。民主党中心の政権には公約を守らせ、必ず実現しましょう。財源は消費税ではなく

大企業減税や軍事費にメスを

こうした福祉・教育の予算を確保するうえで、庶民泣かせの消費税増税は必要ありません。いきすぎた大企業・大金持ち減税にメスを入れれば7兆円、軍事費やムダな高速道路建設を改めれば5兆円の財源が生まれます。

私も実現に全力つくします



大阪府市議員・参院大阪

清水 たいし

41歳

日本共産党大阪府委員会

電話：06-6762-8771 FAX：06-6768-5855

E-Mail：info@jcp-osaka.jp http://www.jcp-osaka.net/